



■懸案事項の解決

①教員による交通事故裁判の決着 ②中西南地区の換地登記

■大規模開発への布石

①三洋電機跡地開発計画の誘導 ②鷓野飛行場跡地の払い下げ交渉

■市民参画の推進

①各種審議会・委員会などのメンバー委嘱は、当て職から原則公募に ②経営改革委員会、市長サロン、パブリックコメント制度、市長メールなどで市民提案を受付

■景観と環境のまちづくり

①ため池や里山などの素晴らしい景観と豊かな自然環境は加西市民共有の財産。廃棄物の不法投棄の監視強化、ペット霊園開発指導要綱を設置 ②環境審議会委員の公募、加西市環境基本計画の策定、環境監視員の公募、ため池再生プロジェクト など

■北条鉄道の活性化

①長年の無責任経営の結果、社員のヤル気まで落ち込んでいたが、率先垂範と陣頭指揮により抜本改革。新たな経営体制をスタート ②北条鉄道活性化計画の策定、ボランティア駅長らによる様々な企画で鉄道売上は上昇中

■農業再生と特産品開発

加西の持ち味と強みを生かすことで加西は元気になる。全国自治体初の食材課を新設、地産地消の推進と加西ブランドの創出に取り組む

■今後の課題

①老朽化した学校教育施設の建て替え、幼保小中一貫教育をめざす新学校構想の実現 ②財政状況の正確な開示 ③広域連携の強化 ④受益者負担と業務効率化による市民負担の軽減 ⑤任期付き職員の任用条例の制定 ⑥都市と農村の交流促進 ⑦Uターンや定住人口の増加 など

ふるさと再発見の旅⑨

北条町横尾にある加西市最古の道標

いいところあるよ加西にも

いまの旅行は、地図やナビによって、らくらくと目的地に着くことができますが、昔の人は一体何に頼って旅をしたのでしょうか。旅の経験者の話を聞いたり、道中で里人に尋ねたりしたのでしょうか、大きな役目を果たしたのが道標です。その道標のうちで加西市で一番古いのが、栗田・横尾・古坂と続く旧道の横尾の東の端、三叉路の地藏尊の隣にあります。

それぞれの道標は、前面を前にして、縦に並ぶようにして3基建っています。一番後ろの道標の右側には「享保十三年戊申年」と刻んであり、これが加西市で最古の道標であります。享保十三年と言えば西暦1728年で、いまから約280年前になります。真ん中の道標は不明です。一番前は「天保七年」で最古の道標から約100年後に建てられています。道案内は道標正面に刻まれ、一番前と一番後ろの道標には共に、「左 明らかじ、右 やしろ」となっています。

道標には、道案内だけではなく供養の念願が込められたり、巡礼の旅が無事満願成就した喜びを表したり、いろんなことを後世の私達に教えてくれています。"



観光案内所だより

未知の加西探しにお越しください

西横田町の木林さんが「ふるさとの魅力を記録して後世に伝えたい」と、長年にわたり撮影された写真集24冊をお借りし、広く皆さんに見ていただこうと、下記日程で閲覧会を実施します。皆さん、まだまだ魅力がいっぱいある加西市探しに是非お越しください。

とき:10/16~10/31 午前9:00~午後4:00

場所:観光案内所

内容:加西の民家と街並み、加西の桜と祭り、古法華自然公園の四季等々

問合せ:加西市観光まちづくり協会観光案内所
TEL42-8823

市内観光めぐりのご案内

古刹と名木に歴史の香りを

市内を代表する紅葉の名所「周辺寺」と、県天然記念物指定の「お葉つきイチョウ」を歴史街道ボランティアガイドの案内により、バスと徒歩で訪ねます。

紅黄葉に燃える木立の中で、今昔の時の香りを満喫してみませんか。

日時:11/19(日) 9:20集合

集合場所:観光案内所(アステアかさい1階)

行き先:周辺寺・その周辺(網引町)、お葉つきイチョウ(殿原町)

募集人員:30名(先着順)

参加費:(弁当、お茶、保険料含む)1,000円

申込先:加西市観光まちづくり協会観光案内所
TEL42-8823

ふるさと再発見ハイク

「加西の古墳めぐり」

ボランティアガイドのご案内。

日時:10/28(土)

午前9:20~(午前9:00集合)

集合場所:観光案内所

アステアかさい1階

コース:北条町駅周辺

参加費無料。雨天中止。

問合せ先:加西市観光まちづくり

協会観光案内所 TEL42-8823